

# あだたら

七月五日(火)〜六日(水)

## 七月山行、姫神山・早池峰山

報告 □□□□

第405号  
発行所 久野山部  
編集 山部あだたら  
郡山部あだたら編

●編集部連絡先  
二本松市部内11-515  
0243(22)4245  
Fax可 渡辺 正



10時50分、早池峰山頂、剣形が沢山

七月五日、六時五十分  
にJAグリーンセンターに参  
加者全員八名が集合し、口  
口さんの十人乗りワゴン車  
で東北自動車道経由、姫神  
山に向けて出発する。途中、  
菅生PAで朝食、休憩、さら  
に前沢SAでも休憩をと

り滝沢ICで高速を降り  
る。一本杉登山口への到着  
が十一時二十八分。ここで  
屋食をとり、十二時五分に  
姫神山、山頂を目指して登  
山開始。近くに牧場がある  
せいかアブが寄ってきて、  
汗をかいた体にまわりつ

く、これには参った。約二  
十分歩いたところで一本杉清  
水に到着。名水とのことだ  
が、今は飲料水としては適  
さないようだ。休憩後、歩  
行開始。姫神山は単独峰で  
山容は美しいが、ほぼ直登  
(登山口の標高五一二mか  
ら山頂一、一二三m)にな  
る。明日の早池峰の足慣ら  
しにしては、ちよっと辛い。  
途中、何回か休憩しながら  
十四時十分山頂到着。山  
頂からの眺めは美しく、風  
も爽やかで疲れを癒してく  
れる。山頂で、ホソバウス  
ユキソウを見つけると、山頂  
で休憩していると、遠くで  
雷鳴、十四時四十分下山開  
始。下山途中で小雨になる  
が、樹林帯の中で幸い雨具  
を着ることなく、十六時に  
全員、無事に一本杉登山口  
戻ってきた。今日の宿泊先  
早池峰ロッジ峰南荘に向け  
て口口さん運転のワゴン車  
で移動開始。途中のスーパ  
ーで、今晚の食事、飲み物、  
明日の朝食を買い出しす  
る。峰南荘は、人気の宿泊  
先のように、なかなか予約  
が取れないところだそう  
だ。今日は満室のようで、  
我々が泊まるのは二十畳の  
広い部屋、荷物を降ろして、  
それぞれ今日の汗を流す。



14時13分、姫神山山頂

も登れたが、六年前に石が  
崩れ登山禁止となってい  
る。小田超登山口に着いた  
ら、監視委員が来て、皆さ  
ん何方から？帰りは何時の  
予定ですか？と聞かれ、ク  
マが出ますから注意して下  
さい。蛇紋岩ですので滑り  
ますよと教えてくれた。登  
山道の途中にはトレイルが  
ないので、登山口の簡易トイ  
レで用を済ませて、万が一  
に備え携帯トイレ持参す  
る。七時四十六分、登山口  
で記念撮影をして登山開  
始。しばらく樹林帯の中を  
歩く。昨日のような虫は寄  
ってこず、湿度も昨日より  
は低く歩きやすい。樹林帯  
を抜けると石がゴロゴロし  
た登山道になる。蛇紋岩で  
滑らないようにしては  
と思いつながら  
進む。登山道  
は左右にロー  
プが張ってあ  
って植生保護  
のため登山道  
から外れない  
ようにしてあ  
る。標高約一、  
四〇〇m付近  
の岩場付近か  
らハヤチネウ  
スキソウが  
登山道から確  
認できる。高  
山植物帯に入  
ったのだ。登  
山道から外れ  
ないようにし  
てカメラを向

綺麗で、対応もよく、なか  
な感じの良い宿泊先だっ  
た。ちよっと遅い夕食にな  
ったが、皆で乾杯。軽く盛  
り上がる。隣の部屋に女性  
だけのグループが居る。静  
かに静かにと言いつながら盛  
り上がる。明日は六時三十  
分起床予定だが、悪天候に  
なる可能性もあり出発時間  
を三十分早めるが、早い時  
間から起きた者がいる  
(私だが・・・)。

ける。今年は当たり年では  
ないと聞いていたが、それ  
でも見ごろで素晴らしい。  
来てよかったと思える瞬  
間。標高一、八〇〇m付近  
の岩場に約十m梯子が設置  
されている。ここまでくれ  
ば山頂までもう少し、気合  
を入れて梯子を上る。十時  
二十八分に早池峰剣ヶ峰分  
岐に到着。標高一、八八三  
m、厳しい登りが終わって  
しばらく木道を歩いて、お  
花畑を眺めながら山頂を目  
指す。十時五十分山頂到  
着、記念撮影後に休憩。山  
頂から雲の合間に河原坊の  
駐車場が見える。天候も心  
配なさそうなので一安心。  
それぞれ行動食を取り下山  
に備える。滑りやすい石が  
続いたため下りは慎重に、カ  
メラをザックにしまつて、  
靴紐を縛りなおす。十一時  
三十分下山開始。岩場を抜  
けて樹林帯に入つて一息つ  
く。小田超登山口に十三時  
五十分、全員無事到着。し  
かし、ここでお疲れ様では



6時43分、峰南荘前



早池峰ウスユキソウ

なかった。道路を歩いて河  
原坊まで行かなくてはなら  
ない。気を取り直して歩行  
開始。十四時三十八分に参  
加メンバー全員無事到着。  
お疲れ様でした。今回の早  
池峰山行で確認できた高山  
植物はハヤチネウスユキソ  
ウ、ミネバウスユキソウ、ミ  
ヤマキンバイ、チングルマ、  
ミヤマアズマギク、コイワ  
カガミ、ミヤマオダマキ、  
チシマフウロ、ハクサンチ  
ドリ等でした。(これ以外  
の花も咲いていたと思いま  
す)花巻のぶどうの湯で汗  
を流してから帰路につく。  
前沢SAで休憩、国見SA  
で夕食を済ませて、二十時  
四十八分にJAグリーンセ  
ンターに到着。全行程運転  
された口口さん。大変お世  
話になりました。そしてお  
疲れ様でした。今回の山行  
メンバーはC L 口口さん、  
S L 口口口口さん、会計口  
口さん、口口口口口口さん、  
口口さん、口口口口さん、口  
口さん、そして記録は口口  
(口)でした。皆さまおせ  
わになりました。

七月二十四日(日)

笠山下登山道整備一回目の二

荷揚げ

報告 編集部



16時57分、奥岳に下山時の参加者全員集合です

今年の笠山下登山道整備は、登山道崩壊箇所への階段設置を行うこととなった。現場は笠山下登山道の旧道分岐付近、休み場の上だ(GPSで緯度経度は確認している)。

登山道整備の日に、口口さんが一回目の測量実施(会報三九六)。今年の山開きの時も追加で測量実施。階段材料を下ごしらえをして、準備して置いてくれた。材料は、廃材中心だが、長期の利用に耐えるよう、堅



9時51分、勢至平分岐、持上げる材料



ブルーシート外すと、材料が現れました

い、しっかりした敷居とかの廃材を主に利用したという、そのため、重い。七月十八日に、口口さん口口さんの二人が口口さんのトラックで、階段材料を青木荘から、岳温泉温泉神社上の温泉会社の資材置き場まで二回に分けて運んだ。その材料は温泉会社の口口さんが勢至平分岐まで、運び上げてくれた。

実は、当初は二十四日に材料運びから、設置まで、一日で終わらせる予定だった。ところが二十四日に口口さんにガイドが入り、二十四日は材料運びだけ、二十六日に設置の作業日を新設と日程変更された。二十四日に二十六日の参加希望取る事にした。ところが、

ガイド無くなった。正直言って訳が判らない。こうした流行病、対応が難しいというか、状況に合わせなければならぬ。二十四日の材料運び、会員外も含め、十三名が参加してくれた。奥岳集合は八時、勢至平分岐着は、九時五十一分。荷揚げは勢至平分岐から、休み場まで。午前中二往復、午後も二往復してくれた人もいた。午後は荷揚げの続きと、階段現場までの材料運び、二手に分かれて作業した。勢至平分岐に上げられた材料は、全部現場まで運び上げるこ

とが出来た。奥岳下山は、十六時五十七分だった。



荷揚げしています

七時四十分奥岳発、九時二十五分勢至平分岐到着。十時十二分休み場到着(時刻は余り早くない事務局的タイム)。十時三十分最初のくい打ち。十時三十二分二本の杭を水平材で結び、最初の水平確認。同じ高さで更に二本くい打ち、階段面になる踏み板ネ

ジ留め、バッテリー駆動の電動ドライバの音、とても頼もしい。十一時二十二分最初の段完成、五十分およっと掛かった。十一時四十三分、口口副会長合流。最初の段は時間掛かったが、二段目からは、手順にも慣れた、スムーズに進むようになった。(三面に続く)



17時6分、休み場発、下山開始

七月二十六日(火)

笠山下登山道整備一回目の二

階段設置

報告 編集部

階段設置(続き)

十二時四十八分三段目まで完成させて昼食休憩。□□さんからは手作りのおトマトと胡瓜提供頂いた。十三時四十五分作業再開、十四時五十四分、四段の階段完成させた。

直ちに二箇所目の作業に着手。十五時四分最初の段の水平確認。作業は順調に進んだが、十六時四十一分、三段の階段完成させ、最後の段を残して、本日の作業終了。間もなく十七時になる。最後の段が無くても以前よりとても楽に通過は出来る。残った材料は

丁寧にブルーシートで包んで、登山者の通過に邪魔にならないようにしてある。八月の二回目の笹山登山道整備の日に完成させることが出来る。

奥岳下山は十八時四十分になった。□□□さんからは朝預かった、大きな大福を参加者に配った、大きく柔らかく、美味しいので喜んでもらった。天気予報では正午から雨雲に覆われ、雨降る筈だったが、幸い下山まで雨に遭うことは無かった。よかったー。



1ヶ所目、完成



1ヶ所目、作業前



水平材加工中



1ヶ所目、くい打ち



2ヶ所目、(一応)完成



2ヶ所目、作業前



踏板固定



2ヶ所目、水平確認

十一日(月)、安達太良山僧悟台登山道の、湯川溪谷、馬返橋の掛け直し作業を実施した。この橋は、高山植物の名所・僧悟台と塩沢登山口を結ぶ唯一の橋で、流出により僧悟台に登れないとの情報が、会員や市役所に寄せられていた。八日に下見をし、橋材は対岸に残っていることを確認した。

十一日には会員七名が、午後一時に塩沢登山口を出発、流出していた橋の掛け直し作業を行った。回収した橋材点検した結果、再利用できるとの結論で、掛け直しだけの作業になった。



一時間ほどの作業で、掛け直し作業は終了した。



掛け直し完成

七月十一日(月)  
湯川溪谷、馬返し橋、掛け直し  
報告 編集部

◆七月二十四日、二十六日、笹山下登山道階段作り。登山道では、七月だというのに「ツルリンドウ」の花、「アカモノ」の実、「クロマメノキ」の実を見付ける事が出来ました。真夏です。

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いので、手書きも歓迎、FAXも受信できます。



ツルリンドウ



八重白山、山頂直下

編集後記  
四〇五号

◆七月十八日、一人で、八重白山シヤクナゲ開花確認。探して歩き回るので、結構疲れる。五ヶ所を確認、撮影できた。笹山下で足吊った。鳥川まで下って、川の水飲んだら、元気回復した。諸先輩からも、鳥川の水飲むと回復すると聞いていた。皆さん、鳥川の水効きますよ。